

西洋美術史・日本美術史の大家による解説と対談が実現！

美術における血

—殉教図から血みどろ絵まで

美術には血を表現したものがたくさんあります。西洋ではキリストや殉教者の血が好んで表現され、日本でも幕末に「血みどろ絵」が流行しました。こうした西洋と日本の血の表現に詳しい美術史家の二人が、血の絵の魅力をたっぷり解説します。

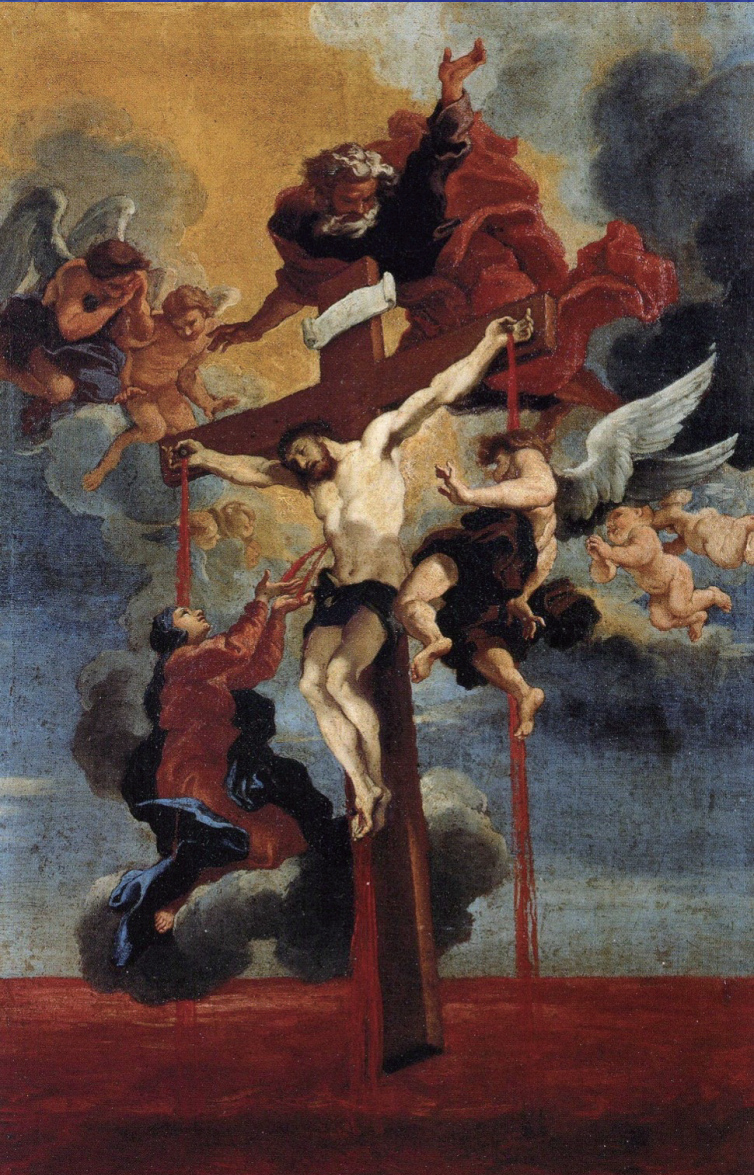
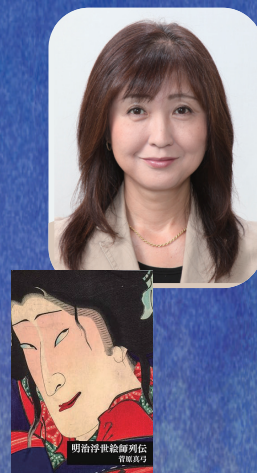
宮下 規久朗(みやした きくろう)
神戸大学大学院人文学研究科 教授

1963年、名古屋市生まれ。東京大学文学部美術史学科卒業、同大学院修了。兵庫県立近代美術館学芸員、東京都現代美術館学芸員などを経て2013年より現職。著書『カラヴァッジョ—聖性とヴィジョン』でサントリー学芸賞受賞。他の著書に『食べる西洋美術史』『美術の力』『モチーフで読む美術史』『闇の美術史』『そのとき、西洋では』など多数。最近の著作に『聖母の美術全史』(ちくま新書)『美術は宗教を超えるか』(佐藤優と共著、PHP研究所)。



菅原真弓(すがわら まゆみ)
大阪公立大学大学院文学研究科 教授

1999年、学習院大学大学院人文科学研究科哲学専攻博士後期課程単位修得退学。2008年「十九世紀日本版画における風景主題と歴史主題」で博士(哲学)を取得。助中山道広重美術館(岐阜県恵那市)学芸員、京造形芸術大学、和歌山大学准教授を経て現職。2019年、著書『月岡芳年 幕末明治のはざまに』(2018年、中央公論美術出版)の成果により芸術選奨文部科学大臣新人賞(評論等部門)受賞。他に『浮世絵版木の十九世紀—風景の「時間」、歴史の「空間」』(2009年、ブリュッケ)、『謎解き浮世絵叢書 月岡芳年「和漢百物語」』(2010年、二玄社)、『明治浮世絵師列伝』(2023年、中央公論美術出版)他著書多数。



チケット販売

チケット発売 4/1 (月) 9:30~

全席 自由席	前売	一般 1500円
		学生 1000円 (当日同料金)
	当日	2000円 (残席がある場合・一般のみ)

芦屋市民センター事務所 (9:00-17:30, ㊤㊤ 17:00 まで, ㊤休)
芦屋市役所売店 (平日 9:30-17:00)
ローソンチケット (Lコード: 53641)

問合せ

芦屋市立公民館 ☎ 0797-35-0700
芦屋市業平町 8-24
ashiyagawa.c@gmail.com
主催: 芦屋市 芦屋市教育委員会 芦屋市立公民館

プログラム

14:00~14:40 講演 宮下規久朗 (西洋美術)
14:40~15:20 講演 菅原真弓 (日本美術)
休憩
15:30~16:00 対談

2024 6/1 (土)

14:00~16:00 (開場 13:30)

ルネサンス クラシックス 芦屋ルナ・ホール